

進むべき道はいつも目の前にある

7月29日(水)

No.7 (三者懇談特別号)

夏を制するものは受験を制す

今年の夏休みは2週間しかありません。さらに、高校入試を半年後に控えた今年の夏は残念ながら『遊び中心の楽しい夏休み』とはいきません。例年より短いとはいえ、夏休みは学力向上・実力アップのためにじっくり勉強に取り組める最後のチャンスなので、気を引き締めて頑張りましょう。

『夏を制するものは受験を制す』という言葉を知っていますか。これは、受験生にとって夏休み学習がどれほど重要であるかを表す言葉です。勉強する時間はあるものの暑くてついダラダラしがちな夏休みをどう過ごすかで、秋には大きな実力差がついてしまいます。

「入試まであと半年以上もあるのだから、こんな暑い時に頑張らなくてもいいや」と思う人がいるかもしれませんが、しかしそれは大きな間違いです。あせる必要はありませんが、「入試はまだ先のこと」と甘く考えて、大事な夏休みに手抜きをしているようでは、貴重な時間はあっという間に過ぎ去ってしまうでしょう。入試直前に「もっと早くから勉強しておけばよかった…」ということにならないようにしましょう。

それでは、有意義な夏休みにするためにいくつかのアドバイスをおきます。

1. 机に向かう時間を決めて、規則正しい生活を!

夏休みは、つい夜ふかしをして生活リズムを乱しがち。でも、生活リズムが乱れて良いことはひとつもありません。1日の中で「絶対に机に向かう!」時間を決めて、それを中心にして「起きる時間」「寝る時間」「食事の時間」などを決めて生活リズムを作っていきます。

2. 無理な計画は立てずに「自分のペース」を守れ!

『張り切ってあまりに欲張りすぎた学習計画を立ててしまい、結局計画通り行かずにやる気を無くして勉強を投げ出してしまふ』これは、よくある夏休みの失敗の1つです。そうならないためにも、一気に「夏休みの計画」を立てるのではなく、3~4日を一つの区切りとして、その区切りごと

に多少の手直しもできるような余裕のある計画を立てましょう。そして、その中で毎朝「ここまではやるぞ!」とその日の計画を決めていってください。誰でも長期の目標よりも目先の目標の方がやる気が出ます。くれぐれも「どうせ計画通り行かないからノープランで行こう」なんて考えてはいけませんよ。



3. 夏休みの勉強はまず宿題から！

「夏休みは受験勉強を中心にして、宿題は後回しにしよう」なんて思っている人はいませんか。夏休みの宿題は2学期の成績に大きく影響します。夏休みの宿題は実力テストの範囲でもあります。つまり、宿題を完璧にすることこそが入試合格への近道なのです。まずは、心を込めて宿題を仕上げましょう。そして、間違えたところ、できなかったところを中心に、受験勉強の計画を立てましょう。「宿題だけをして終わり」ではなく、「宿題をきっかけにして1・2年生の範囲の復習をしっかりとやってください」

4. 「読書」「日記」は、学力アップに大いに役立つ！

「勉強は頑張っているのになかなか点数につながらない」経験はありませんか。原因は読解力の不足です。問題の「書いてある内容」や「問いの意味」が正しく理解できていないために、知っているのに正しく答えを書けない人が少なからずいます。特に、入試では「問いの意味」を読み取る読解力、自分の考えを相手に正しく伝える表現力・記述力があるかどうか問われる問題が出題されます。

読解力をつける一番いい方法は『読書をする』、表現力・記述力をつける一番いい方法は『日記を書く』です。どちらも、一定期間継続しないとつかない力なので、時間がある夏休みに取り組んでみてください。国語以外の教科の学力アップにもつながるはずです。



5. 健康管理もとても大切です！

暑い夏、ついつい冷たいものに手が伸びてしまいますね。また、エアコンの効いた部屋で長時間過ごしたり、夜遅くまでテレビを見たりスマホをいじったりしがちですね。その結果、「お腹をこわしてしまった」「夏風邪をひいてしまった」などということになってしまい、しんどくて勉強どころではないということになれば大変です。計画通りに勉強を進めるためにも健康管理は大切です。いつも以上に注意しましょう。

6. 高校見学（体験入学）に行って、高校のイメージを持とう！

「〇〇高校に入りたい」という目標があれば、しんどい勉強も頑張れます。「でも、どの高校を目標にすればいいのかわからない」と思っている人こそ、高校見学に行きましょう。実際に高校の雰囲気味わえば、自分が高校生になったイメージも湧いてきます。そうして、「来年からこの高校に通いたい」と思える高校を早く見つけましょう。

